



「白ゆり」創刊を祝して

西南学院大学学長 田中輝雄



この度、西南学院大学女子同窓会「西南ゆりの会」の機関誌「白ゆり」が創刊される運びとなりましたことを心から喜び、一言お祝いを申し上げます。

八年前の創立以来、女子同窓会は「秋の集い」や「ミニサロン」等の催しをつみ重ね、実績を上げてこられました。先頃、会の通称も美しい「西南ゆりの会」ときめら

れたとのこと、この機関誌の創刊を機に、会の皆さんが一層結束を固め、親睦を深められることを祈ります。また、今後とも母校への物心両面にわたるご支援をよろしくお願いいたします。

本年、西南学院は創立七十七周年、その中で大学は四十四周年です（大学は最初から共学）。卒業生は約五万六千名、その中女子は約一万名になります。最初は少数であった女子学生も年々増え、現在では大体男子六に對し女子四の割合です。

今後、「西南ゆりの会」が女子同窓会としての特色を生かし、ますます発展されることを祈念して私のご挨拶といたします。

創刊号

西南学院大学女子同窓会
(西南ゆりの会) 機関誌

1993年10月1日発行

発行人 内海昌子

福岡市早良区西新1丁目

西南学院大学同窓会内

連絡先=福岡市上呉服町5-30
梓書院内

卒業生もどしどし利用を!!

― 大学に新図書館完成

大学キャンパス内に素晴らしい図書館が完成しました。効率良く、使い易い、また快適な場所となるよう設計され、作られています。

卒業生も大いに利用して下さいとのこと。手続き方法など、詳しくは西南学院大学図書館閲覧係(092・823・3404)に必ず事前にお問い合わせ下さい。



題字は中牟田栄藏氏

「白ゆり」創刊を祝う

西南学院大学同窓会専務理事 平田 豊



西南ゆりの会機関誌「白ゆり」の創刊号発刊を心よりお喜び申し上げます。女子同窓会が発足して早や八年目。この間、運営委員の方々におかれましては、さぞ試行錯誤の連続であったであろうとお察しします。

い、励まし合い、喜びあえるもの出来るように、ほんの少しでも手助け出来るならばとの思いから同窓会を支えてこられた中で、情報を伝え合うことで心が一つに向かって行くようにとこの白ゆりは誕生したのでしよう。

会員の皆様のご愛読を頂き、更に情報提供などもして頂ければ、白ゆり「は本当に広く皆様の心を結ぶものとなる事でしよう。

青春時代を共に同じ学び舎で過ごした仲間達が巣立ち、そして大人になっていく。その間を互いに助け合

最後に「ゆりの会」の益々のご発展を心より祈念いたします。

「秋のつどい」へのお誘い

第8回「秋のつどい」を下記の通り行います。秋の午後ひとときを、「優しい音色のハンドベル演奏」と懐かしい山中耕作先生のお話でお楽しみ下さい。どうぞ、お誘い合わせの上、久し振りに母校をお訪ねください。また、会に対するご意見・ご希望も聞かせください。

日時 平成5年11月6日(土)
午後2時～5時
会場 西南学院大学2号館7階・8階
会費 3000円(懇親会参加者のみ)

〈プログラム〉

- I部 ハンドベルクワイヤ演奏
曲目: パッヘルベルのカノン他
- II部 公開講座 於: 8階会議室
講師: 山中耕作西南学院大学教授
演題: 明石の姫君の二人の母
-源氏物語の女性の生き方をめぐって-
- III部 懇親会 於: 7階ラウンジ
(各部とも当日受付いたします。)

平成4年度事業報告

(平成4年4月1日～5年3月31日)

西南学院大学同窓会総会(6月19日・金)
積極的に参加

第15回ミニサロン(6月29日・金)
テーマ:「野鳥入門」
講師: 城野茂門氏
会場: イリスカルチャーセンター

広報紙『白ゆり』発行: 創刊準備号(10月26日・水)
女子同窓会の通称「西南ゆりの会」と決まる

平成4年度総会: 於西南学院大学ランキンチャペル
(11月21日・土)

第6回秋の集い(11月21日・土)
パイプオルガンとコーラスそして懇親会
パイプオルガン: 青野詔子さん
コーラス: 西南プリエール
会場: 西南学院大学ランキンチャペル及び2号館7階ロビー

第16回ミニサロン(3月13日・金)
テーマ:「光をかざす女たち-福岡県女性史の編集を終えて」
講師: 武野要子(福岡大学教授)
会場: めうべるとんじん

役員会 月に1回
フィリピンの女子大学生に奨学金援助開始

平成4年度収支報告

(平成4年4月1日～5年3月31日)

1. 収入の部

項目	収入額	備考
同窓会補助金	400,000	西南学院同窓会よりの補助金
講演会費	316,000	秋の集い会費 256,000 お祝い金 60,000
ミニ講座費	59,000	第15回ミニサロン(6/19) 1,000 × 25名 第16回ミニサロン(3/13) 1,000 × 34名
繰越金	34,160	前年度よりくりこし
その他	615	預金利息
借入金	68,262	不足分を会長より借入
収入の部合計	878,037	

2. 支出の部

項目	支出額	備考
講演会費	317,643	秋の集い 懇親会費等
講師謝礼	80,000	秋の集い 演奏者の方及びプリエール謝礼
ミニ講座費	78,050	ミニサロン講師謝礼及び喫茶費
慶弔及び渉外費	83,342	他大学総会出席会費や御祝花等
通信費	130,110	秋の集い 案内葉書や切手代
印刷費	135,875	葉書印刷代金
会議費	45,000	年間役員会会場費及び事務所費
雑費	8,017	事務用品代等
支出の部合計	878,037	

ハンサムウーマン ②

渋田 壽子 さん

(福岡市中央区役所総務部長)



自分の足

でしっかり

歩く、自分

の目できち

んと見る、

それゆえに

ハンサムな

女性。今回はミニ市長と言われるお忙しい渋田さんをお尋ねしました。

― まず最初に月並ですが、大学で学ばれたことは

何を勉強したかよく覚えていないんですが、高卒の人に比べて空白の四年間、短大卒の人と比べても(勉強内容は同じかも知れないが)選べる二年間があったのが、後々の人生で大きな財産になり、人間に幅が出来たのではないでしょうか。

船越商学部長(当時)が「社会に出たらまず人の盃を受けなさい。それで人の流れ(和)が出来ると仰った事は今も守っています。

― 「西南」らしさをどこで感じましたか

家に仏壇があった位で、それ迄宗教

に接してなかったけど、キリスト教を聞いて素直に受入れられましたね。

― この職業を選ばれた理由は

当時は文学部卒なら兎角、女性の商経部卒業生を雇用してくれるところがなく公務員しか駄目だったということですよ。

― そうして選ばれた公務員、そこで女性としての差別を感じられたことは

採りたくなかったけれど入って来た者は仕方がなかったという事は後で聞きました。でも入った部課が、いつも新設された所で、しなければならぬ事が沢山あり、忙しくて良かったと思いません。暇な部課に行くとする事がなく

落込んで駄目になる様ですね。今は机上の仕事より、土・日の催し物への参加が多いんです。最初は厭でしたが、やるからには楽しもうと積極的に参加しています。

― 今の若い人達に望むことは

それなりの見方は持っていると思います。でも、もう少し覇気を持って欲しいですね。

― 大学に望むことは

学生時代は受身だったので勉強が身につくきませんでした。生涯学習というか、今必要なもの、聞きたい講義を聞ける制度とか場があったらと思います。

(経済学部卒 65期)

「さらまっぼの会」奨学生

J・バルデスコさんに決まる

「西南ゆりの会」では、フィリピンの学生のための奨学支援民間団体「さらまっぼの会」を通じてスポンサーになっていきます。対象の学生は女子四年制大学生一人、卒業まで。資金



ジーン・バルデスコさん

はサンフラシスコ郊外サンノゼ在住の先輩・河野勤

さん(昭和七年旧高商卒)から頂いた寄附金の利息分をあてることになっています。このほどさらまっぼの会経由で当該学生、ジーン・バルデスコさん (Immaculate Heart of Mary Academy)の歴史学科(一年)からお礼状が届けられましたので、原文のまま掲載いたします。

これからのアジア(フィリピン)のリーダーとなる女性が育ってくれることを願いながら、今後とも彼女たちとの交流を深めて行きたいものです。(文責・内海)

April 4, 1993

Dear Sir/Madam :

I am more than pleased to be informed that the "SALAMAT PO KAI" have found a sponsor for me which is you, and I am very grateful for the help you are to extend on my accounts. I do hope that with your help I may be able to accomplish my study, I write this letter thanking you with deep sincerity in your willingness to support my studies. Your generosity to finance my college education is an answer to my prayers. And prayer is my only means to fully express my heartfelt gratitude to you. Once again THANK YOU and GOOD DAY!

Advance HAPPY EASTER !!!
GOD BLESS!

Gratefully yours,
Jean Valdezco

なぜ西南を選んだか

司会 本日はお忙しいのにおいで戴いて有難うございます。さつくばらんに、卒業後だからこそ思い出し、期待もするところの学校像をお聞かせ願えばと思います。まず最初に学校で学んだことはどういうことだったかお聞かせ下さい。

岡村 中・高・大と青山学院で学んだ後、三十八才で神学部に入塾しました。それ迄はとも懐疑的だったのですが、結婚して夫について行った米国で、西南女学院の宣教師だったラバプテスマを受けました。そして帰国して教会に通いました。強調週間で「献身」を知り、生涯キリスト教に携わりたいと決心し、神学部に入塾しました。

山縣 博多のと真中で生れ育ち、南博幼稚園に通いましたが、当時の西南の実習生がとてまぶしく憧れを感じていました。勧める人も多かったのが自然な気持で選びました。

古賀 大学受験の頃、関西から転校して来たばかりでした。親戚にクリスマスチャンが多く、祖母の西南という意向も強かったのが、下見に行くに雰囲気がとても良く肌に合った感じでした。また、自分の意思でなく周囲の「これからは英語の時代よ」という勧めで英専に入塾しました。

就職のきっかけは？

司会 では夫々の学部で選ばれた後、どうして今の職業を選ばれたかお聞かせ下さい。

山縣 兄教の入学者は目的を持って入る人が多いのではないのでしょうか。私も、受験の際この学科が一番適している様に思えましたし、三年次の教育実習で、今の職業を選ぼうという気が一層強くなりました。

司会 岡村さんは大人になってからこの学部を選ばれたのですから、今の職業が全てを語っていますね。

岡村 そうですね。大学迄は懐疑的でした。物事を頭でばかり考えて。でも米国で素朴な人達と出会って自分が変わっていった様に思います。問題や苦しい事がある人のためだけの宗教ではなく、何も問題がなくて恵まれて幸せな時に、決断し信仰告白出来る人が一番恵まれて幸せなのよと言われ

れて納得出来ました。

山縣 教育実習では、大学で学んだことがそのままその場で役に立つと言っただけでなく、うまく行かないことも度々でした。それでも子供との直接のふれあいで一体感を感じたり、子供達と共有出来る喜びがあります。

古賀 英語が好きでないので英専に入塾し、折角努力したので英専に生かしたいと思ひ、教育産業で一般企業に入りました。出産後家庭に入った時にも英語教育には関わっていたいと思っていました。その時に病欠の先生の代理ということで英語教師を始めました。高校の英語つまり受験英語を教えるのは大変でした。それで身心共に疲れ果て二年間休み、そして講師になりました。

司会 仕事と家庭との両立で色々とお悩みもあるかと思いますが、そんな時に西南で得たことが支えになることがありますか。

古賀(森) 和子さん (県立高校常勤講師 70期 英専卒)

山縣(浅嶋) 久美子さん (市立小学校教諭 88期 児童教育科卒)

岡村 直子さん (福岡国際キリスト教会副牧師 91期 神学部卒)

山崎(重高) 美知子さん：司会 (70期 英専卒)

山縣 兄教に小学校課程が出来てから、職場にも同窓生が着実に増えてきて嬉しいです。

古賀 英語教師の場合西南出身者が非常に多いですね。先生になるためのカリキュラムで勉強した人と、一般企業に行く人もいる学部で勉強した人と、何か違うものがある気がします。

職場でのハンディは？

司会 職場で女性としてハンディを感じる事がありますでしょうか。

山縣 小学校は女性が多い職場なので、その点は働きやすいと思います。ずっと続けられるかどうか全く自信がなかったのですが、家族の協力もあって、出産後も続けていけそうです。

古賀 一般企業では女子社員は早く出社して「お茶汲み」がありました。転職先の高校では全くそれがありません。お茶は飲みたい人が自分でいれるということに一番吃驚しました。先生も管理職になるとかなり忙しいので、女性の場合は独身か又は家庭の事を代行してくれる人がいるという立場の方が多いようです。

岡村 神学部でも女性が増えました。が、米国では南部バプテストの場合、女性牧師が認められていないんです。司会 これから子供が減少していく中、西南の個性が生かされることが望まれますね。

古賀 文系の学部だと女子が多くな

座談会 かった!! 語る



学んでよ 西南を

古賀 子供達が大きくなったら、何かボランティアをやりたいと思つています。

山縣 高校が来年度から共学になるということですが、私学の共学というのはまだ珍しいそうです。キリスト教に基づいた自由な校風は持ち続けて欲しいですね。語学の西南と言われているのでやはり、語学教育には力を入れてもらいたいですね。

岡村 昔はそれなりの意味があったのでしようが、キャンパスが神学部だけ離れているのは一寸隔世的では？これから出て行く社会の真只中で学ぶべきではないかと思うのですが。

古賀 専門的な公開講座が欲しいですね。資格を得るためだけではなく、単に学びたい人のために開いて戴けたらと思います。難しくではなく、噛んで分かるように。

岡村 聴講費を払えば講義は聞けますが、それが高いんですよね。講義もお行儀良い堅いものでなく柔らかいものをやって戴けたらと思います。かえってそれが、教会へ行くところかかりになるのかも知れませんね。

山縣 学生も今自分が興味や関心を持っていることについてその面白さが分かる程に勉強して欲しいですね。そして先生方も魅力ある授業をして欲しい。今の子はと嘆く前にも先生方も努力して欲しいと思います。今私が、話を聞く立場から教える立場になって

「分かりやすく教える」この難しさを痛感しています。

古賀 宣教師の方が英語が得意なのは当然でしょうが、経済にも詳しいとか色んな分野の宣教師がいらっしゃったら良いなと思います。そうすると英専以外の学生も英語と日本語の二本立の講義が受けられますから。

山縣 講義も多数のマスプロ形式のばかりでなく、お互いの意見を聞き話し合える機会を今後増やして貰いたいですね。

岡村 大学は本当の勉強が出来る時だと思つたのです。ですから先生も授業を飽きさせないというプロの意識に目覚めて欲しいですね。

古賀 あの大学の、あの先生の授業が聞きたいと言つて選ばれるようなそんな大学になって欲しいですね。「西南」らしさがソフト面でもハード面でもあったらすばらしいと思います。

司会 西南も八十年近い年月が積み重ねられ、今や女性の数は、新入学生では半数を越えるということですよ。長い歴史を感じさせ、いつも心が選んで行ける西南であつて欲しいと思います。それと共に今後は社会に進出していく女子の卒業生がますます多くなると思いますが、まだ女性が男性と伍して活躍していくには多くの障害があります。学院で共に学んだという縁をお互いにつなぎ、お互いが手をつなぎあつて、助け合つていけるといいですね。

ります。女子が多過ぎると、男子にガツツがなくなるし、女子にも緊張感がなくなるので理系の学部があつたらなと思つています。

司会 アジアに開かれた福岡市にある大学なのだから、例えば東洋史学科とか専門的なきめ細かな学科があつても良いのかも知れませんがね。百道浜に大きなキャンパスもある事だし。

古賀 学部学科を越えて情報処理科を受けられるのはとても良い事だと思います。

司会 基督教は難しく教えずにいて、哲学というの

生活に密着したものでないかも知れないけど、「なる程ね」と思えるものがあったらねと思つています。教義が狭義に見えるんですね。

岡村 高等な学問ということではなく今は少しずつ変わつて来てると思つていますよ。心に関わる宗教であつて欲しいですね。(試験などせずに)身近かな生活のレポートとキリスト教を結びつけた方が宗教性が出てくるのかも知れませんね。

司会 心豊かなやさしい人間を作る手助けには宗教心はなり得ると思つています。同窓会もそうだと思うんです。私にとつてチャペルはとても楽しかったし、心に残つていふんです。

母校西南にのぞむこと

司会 最後に将来の抱負、学校への夢をお聞かせ下さい。

「緑の大地」

— 西南スクール・カラー —

西南学院のスクール・カラーはグリーン。

正確に「テレベルト・グリーン」という名前です。「テレベルト」というのは、フランス語であり、(terre verte)と書きます。

「テレベルト」は顔料(絵の具)としての「緑土」のことですが、広く「緑の大地」とも解釈できるのです。素晴らしい色の選択ですね。

西南の色、青春の色、そして平和の色

(創立77周年記念に太田和男教授の講演を聴いて)

髪ながき

少女のうまれししろ百合に

額は伏せつつ君をこそ思へ

山川登美子

カット

尾崎 恵子



花

母校の催し

10月16日(土)

秋季オープン・キャンパス

入学希望の受験生、保護者へのキャンパス公開で、夏季にも行われている

問い合わせは入試課

(TEL 823-3297)へ。

11月10日(水)～14日(日)

大学祭

11月18日(木)

オルガンコンサート

オルガニスト：植田義子さん

於：ランキンチャペル

12月10日(金)

「アドベントコンサート」

出演：チャペルクワイヤ

於：ランキンチャペル

12月17日(金)

「クリスマスコンサート」

出演：ハンドベルクワイヤ

於：ランキンチャペル

12月20日(月)

西南学院主催による

「西南学院・市民クリスマス」

時間：午後6時30分より

於：ランキンチャペル

◇通信費カンパのお願い

西南学院大学女子同窓会も、発足以来八年を迎えようとしています。遅々とした歩みながらも会員の皆様のお支えのお蔭で、通称も「西南ゆりの会」と定め、ささやかながら、機関誌を創刊するまでになりました。しかし女子卒業生の方、全員にその存在を知って頂くには製作費、通信費、その他の制約が大きく、交流の輪を広げるのは大変困難をきたしています。そこで皆様にお願ひごとで恐縮ですが通信費の補助としてカンパ(一口千円、何口でも)を募りたいのです。厚かましいとは思いますが、どうか趣旨をお汲み取りの上、ご協力お願い致します。お志のある方は同封の振替用紙をご利用ください。(振替口座番号は、福岡一八五六四五・西南ゆりの会です)

ご案内

'93男性合唱

西南シャントウール定期演奏会

賛助出演 西南プリエール

♪ロシア民謡を歌います

○11月13日(土) P M 7時開演

○メルパルクホール

※プリエール団員募集しております。

・練習日 毎月2回(第1・3週の

土曜の午後2時～4時)

・場所 Y M C A 会館2階ホール

・入会金 一、〇〇〇円

・会費 一、五〇〇円

・連絡先 古賀841-1757

後藤871-4706

◇編集後記

○やっとの思いで創刊号の発行にこぎつけることが出来、ホッとしています。少ない人数で、乏しい能力の集まりで未熟な機関誌になり、申し訳ないと思っています。

○ゆりの会の皆様方の身近な情報(例えば、絵画等の展覧会の催し、受賞されたこと、本の出版、同期会の集り事、その他何でも結構です。)をドシドシお寄せくださって、「白ゆり」を情報交換の場としてください。

○西南ゆりの会のお手伝いをして戴ける方を募集しております。これも一つのボランティア活動です。お手を貸して下さいませんか。(Y)